

ライフレビュー

介護職員 成沢 淳

介護職について早いもので1年半が経ち、現在はみずばしょうの里で利用者様をお世話しております。今年も12月を迎え、1年を振り返ってみますと季節毎の行事を楽しんだことや、イオンやヨークベニマルに買い物に行ったこと、利用者様と一緒に日帰り旅行をしたことなどを思い出し、楽しんでおられた様子が思い出されます。

今月はクリスマス会があり、利用者様へ回想録(ライフレビュー)をプレゼントしました。これは、利用者様とその家族と職員で、色々な方々でコミュニケーションをとり、子供の頃、学生の頃、社会人の頃などを回想していただき、それをまとめた一冊の本です。利用者様やご家族様にとっては大変思い出深いプレゼントになったことと思います。又、水木に切り餅をつけたり、居室の前に、自分で作ったお正月の飾りなどを置いて準備などをすると「お正月来るの?」とか「おせち食べようね」などという声が多く聞かれ、やはり日本の伝統行事はしっかりと生活の中に取り入れてきた様子がうかがわれました。

これからも、利用者様に「この家(ホーム)は好きですか?」と聞いたとき「大好きだよ」と答えていただけるよう、地域の方々との交流を深めながら、誠心誠意を持って頑張っていきたいと思っております。

介護の意味について

介護職員 早坂 朗子

「介護の意味」について原点に立ち返ってみると、最も共通している家族が介護している意味の原点は、「お別れの準備をすること」。

介護職は、最後の価値実現の可能性を助ける事ができる仕事で、相手している方に、今すぐ、あるいは、ちょっとお手伝いできそうな体験価値をする相手の意味に答、職にも意味があると思う。

もとめる事は、その人の「生きている意味」をこちらから真剣に受け止めているという証拠。その人にとって、大きな価値を持っている事を最後に体験させてあげることは、その人の人生で最後の価値体験を助けることになる。

人の人生の最後の数歩を共に歩むというのは、崇高で偉大な役割である。なぜなら、死について私たちの人生の中で最も荘厳な瞬間であり、「良い人生だった」と考えてもらえたなら、自分自身こそ、非常に、たくさんの事を得ている。そして、介護職のエネルギーにつながっていくと思う。



《12月の行事》

12月25日 クリスマス会+お誕生会

ボランティアの方々と一緒にケーキを作りました。とても美味しかったです。



12月28日 みず木つけ

みんなでもちを丸めてみず木に付けました。
♪早く来い来いお正月♪



12月19日 フラワーアレンジメント

一人一人きれいな花を花瓶に活けました。



【2011年1月の行事予定】

1月1日 元旦

おせち料理、お餅をいただきます。

1月2日 書初め

一人一人お習字をしていただきます。

1月7日 七草粥

七草の歌に合わせて七草を刻んでいただきます。